

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月9日 (2015.4.9)

【公表番号】特表2014-505572(P2014-505572A)

【公表日】平成26年3月6日 (2014.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-012

【出願番号】特願2013-554597(P2013-554597)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/56 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 S

A 4 1 B 13/02 H

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月16日 (2015.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 7】

本出願では、以下の態様が提供される。

1. 長形連続材料ウェブであって、前記ウェブの長手方向に配置された複数の隣接タブと、隣接するタブ間に配置された接続領域と、を備え、各接続領域は、前記のウェブの横方向に延在し、前記ウェブの長手方向に伸長可能な少なくとも 1 つの接続部材が形成されるように配置される少なくとも 3 つの切り込み部を備え、少なくとも 1 つの切り込み部は前記ウェブの一方の長手方向縁部を通して進む側部切り込み部を形成し、少なくとも 1 つの切り込み部は前記ウェブの他方の長手方向縁部を通して進む更なる側部切り込み部を形成する、ウェブ。

2. 前記接続領域のうちの少なくとも 1 つの領域は、少なくとも 3 つの隣接切り込み部を備える 1 つの単体の伸長可能な接続部材を備え、前記少なくとも 3 つの隣接切り込み部はそれぞれ交互に、前記ウェブの一方の長手方向縁部を通して対向する長手方向縁部近くまで延在する、態様 1 に記載のウェブ。

3. 前記接続領域のうちの少なくとも 1 つの領域は、前記ウェブの横方向に横に並んで配置され、前記ウェブの長さ方向に延在する分離切り込み部により互いに分離される 2 つの伸長可能な接続部材を備え、前記 2 つの伸長可能な接続部材のそれぞれは、前記分離切り込み部から前記ウェブの一方の長手方向縁部近くまでと、前記長手方向縁部を通して前記分離切り込み部近くまでと、に交互に延在する、少なくとも 3 つの切り込み部を備える、態様 1 に記載のウェブ。

4. 前記接続領域のうちの少なくとも 1 つの領域は、前記ウェブの横方向に横に並んで配置される、1 つの内側の伸長可能な接続部材及び 2 つの外側の伸長可能な接続部材である、3 つの伸長可能な接続部材を備え、前記内側の伸長可能な接続部材は、前記ウェブの長さ方向に延在する分離切り込み部により前記 2 つの外側の伸長可能な接続部材から分離され、前記内側の伸長可能な接続部材は、前記分離切り込み部の一方から他方近くまで交互に延在する、少なくとも 3 つの隣接切り込み部を備え、前記外側の伸長可能な接続部材は、前記分離切り込み部から前記ウェブの一方の長手方向縁部近くまでと、前記縁部を通して前記分離切り込み部近くまでと、に交互に延在する少なくとも 3 つの隣接切り込み部

を備える、態様 1 に記載のウェブ。

5. 奇数の切り込み部が伸長可能な各接続部材に設けられ、前記側部切り込み部は他の切り込み部の間に位置づけられ、かつ / 又は 1 つの接続領域における前記伸長可能な接続部材のそれぞれは、同数の隣接切り込み部により形成される、態様 3 又は 4 に記載のウェブ。

6. 前記伸長可能な接続部材は、互いに対して角度をつけて配置される、態様 3 ~ 5 のいずれか一項に記載のウェブ。

7. 前記切り込み部のうちの少なくとも 1 つに、その端部領域に打ち抜かれる孔を設けた、態様 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のウェブ。

8. 各伸長可能な接続部材の少なくとも 3 つの切り込み部は、前記ウェブの長手方向に対してほぼ垂直に互いに平行であり、かつ / 又は各伸長可能な接続部材における前記少なくとも 3 つの切り込み部は、互いに等しく離間する、態様 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のウェブ。

9. 前記ウェブの少なくとも 1 つの主面は、少なくとも部分的に、フック、ループ、接着剤及びそれらの混合物からなる群から選択される付着性材料が塗布される、態様 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のウェブ。

10. 前記ウェブは、その長辺の一方又は両方に脆弱線が設けられ、前記脆弱線が破れた場合に、前記伸長可能な接続部材が対応する隣接タブから分離するよう、前記脆弱線は前記伸長可能な接続部材を通して前記長手方向に延在し、前記脆弱線は、特に、前記ウェブの長辺の縁部近くまで進むそれらの切り込み部と交差する、態様 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のウェブ。

11. 前記連続材料ウェブがロール上に巻回されてなる、態様 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のウェブ。

12. 長形連続材料ウェブであって、前記ウェブの長手方向に配置された複数の隣接タブを備え、2 つの隣接するタブ間に、少なくとも 1 つの孔が設けられ、前記孔は、態様 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の連続材料ウェブを長手方向に延ばすことにより形成される、ウェブ。

13. 長形連続材料ウェブであって、前記ウェブの長手方向に配置された複数の隣接タブを備えるウェブを生産する方法であって、前記ウェブの横方向に延在する切り込み部を含む接続領域が隣接タブ間に配置され、少なくとも 1 つの伸長可能な接続部材が前記ウェブの長手方向に伸長可能に形成されるように、前記ウェブの横方向に延在する少なくとも 3 つの切り込み部を配置することにより各接続領域を形成し、少なくとも 1 つの切り込み部が前記ウェブの一方の長手方向縁部を通して進む側部切り込み部を形成し、少なくとも 1 つの切り込み部が前記ウェブの他方の長手方向縁部を通して進む更なる側部切り込み部を形成する、方法。

14. 吸収性の衛生又は生理用製品を製造する方法であって、長形の吸収性衛生材料ウェブ又は吸収性衛生材料ウェブの処理済み部分を供給することと、態様 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の連続材料ウェブを供給することと、前記連続材料ウェブを、そのタブが前記長形の吸収性衛生材料ウェブの所望の位置に配置されるように前記長形の吸収性衛生材料ウェブに接触させることと、前記タブを前記当領域に付着させ、同時に又はその後で、必要に応じ、前記タブ間の少なくとも前記接続部材を取り除くことと、を含む、方法。

15. 連続材料ウェブであって、前記ウェブの長手方向に配置された複数の隣接タブを備える前記ウェブを製造するための切断装置であって、隣接タブ間に前記ウェブの横方向に延在する切り込み部を備える接続領域が設けられており、前記切断装置は、前記ウェブの横方向に延在し、前記ウェブの長手方向に伸長可能な少なくとも 1 つの接続部材が形成されるように配置される各接続領域を 3 つ以上の切り込み部により形成するように配置される切断部材の群を備え、前記切断部材は、前記ウェブの 1 つの長手方向縁部を通して進む側部切り込み部を形成する少なくとも 1 つの切り込み部、及び前記ウェブの他の長手方向縁部を通して進む更なる側部切り込み部を形成する少なくとも 1 つの切り込み部を提供するように配置される、切断装置。

本発明の様々な修正および変形は、本発明の範囲および原理を逸脱することなく当業者には明白であり、本発明がここで詳述された例示的实施形態に不当に制限されるものではないことは理解されるべきである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長形連続材料ウェブであって、前記ウェブの長手方向に配置された複数の隣接タブと、隣接するタブ間に配置された接続領域と、を備え、各接続領域は、前記のウェブの横方向に延在し、前記ウェブの長手方向に伸長可能な少なくとも 1 つの接続部材が形成されるように配置される少なくとも 3 つの切り込み部を備え、少なくとも 1 つの切り込み部は前記ウェブの一方の長手方向縁部を通して進む側部切り込み部を形成し、少なくとも 1 つの切り込み部は前記ウェブの他方の長手方向縁部を通して進む更なる側部切り込み部を形成する、ウェブ。

【請求項 2】

前記接続領域のうちの少なくとも 1 つの領域は、前記ウェブの横方向に横に並んで配置され、前記ウェブの長さ方向に延在する分離切り込み部により互いに分離される 2 つの伸長可能な接続部材を備え、前記 2 つの伸長可能な接続部材のそれぞれは、前記分離切り込み部から前記ウェブの一方の長手方向縁部近くまでと、前記長手方向縁部を通して前記分離切り込み部近くまでと、に交互に延在する、少なくとも 3 つの切り込み部を備える、請求項 1 に記載のウェブ。

【請求項 3】

前記接続領域のうちの少なくとも 1 つの領域は、前記ウェブの横方向に横に並んで配置される、1 つの内側の伸長可能な接続部材及び 2 つの外側の伸長可能な接続部材である、3 つの伸長可能な接続部材を備え、前記内側の伸長可能な接続部材は、前記ウェブの長さ方向に延在する分離切り込み部により前記 2 つの外側の伸長可能な接続部材から分離され、前記内側の伸長可能な接続部材は、前記分離切り込み部の一方から他方近くまで交互に延在する、少なくとも 3 つの隣接切り込み部を備え、前記外側の伸長可能な接続部材は、前記分離切り込み部から前記ウェブの一方の長手方向縁部近くまでと、前記縁部を通して前記分離切り込み部近くまでと、に交互に延在する少なくとも 3 つの隣接切り込み部を備える、請求項 1 に記載のウェブ。

【請求項 4】

前記ウェブの少なくとも 1 つの主面は、少なくとも部分的に、フック、ループ、接着剤及びそれらの混合物からなる群から選択される付着性材料を備える、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のウェブ。

【請求項 5】

長形連続材料ウェブであって、前記ウェブの長手方向に配置された複数の隣接タブを備え、2 つの隣接するタブ間に、少なくとも 1 つの孔が設けられ、前記孔は、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の連続材料ウェブを長手方向に延ばすことにより形成される、ウェブ。

【請求項 6】

吸収性の衛生又は生理用製品を製造する方法であって、

長形の吸収性衛生材料ウェブ又は吸収性衛生材料ウェブの処理済み部分を供給することと、

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の連続材料ウェブを供給することと、

前記連続材料ウェブを、そのタブが前記長形の吸収性衛生材料ウェブの所望の位置に配置されるように前記長形の吸収性衛生材料ウェブに接触させることと、

前記タブを前記当領域に付着させることと、  
同時に又はその後で、必要に応じ、前記タブ間の少なくとも前記接続部材を取り除くこ  
とと、を含む、方法。